



パワハラ・セクハラによる退職者が増加傾向 2018年度では4割が退職

フリーター・既卒向け就職支援「ハタラクティブ」調べ

レバレッジズ株式会社が運営するフリーター・既卒向け就職支援サービス「ハタラクティブ」(<https://hataractive.jp/>)は、全国の男女281名にセクハラ・パワハラに関する調査を実施いたしました。

2018年に厚生労働省が、職場のパワーハラスメント対策として、企業に防止措置を義務付ける方針を固めました。具体的な対応方法として社内への周知・啓発や相談窓口の設置などを検討・指針で明記するなど。セクハラ対策も強化し、取引先との関係で被害があった場合に加害者側の企業が取るべき対応を明確化するそうです。

■調査結果

- 1：パワハラやセクハラで仕事を辞めた人は、前年より12ポイント増加
- 2：パワハラやセクハラで仕事を辞めている知人も増加傾向
- 3：パワハラ度合いが高いと感じる行為は大きく変化なし
- 4：セクハラ度合いが高いと感じる行為には変化あり

■調査概要

調査名：パワハラ、セクハラに関する意識調査

調査方法：Webアンケート

調査期間：2019年4月12日～2019年4月19日

調査対象：全国の18歳～30歳男女（正社員・契約社員・派遣社員） 281名

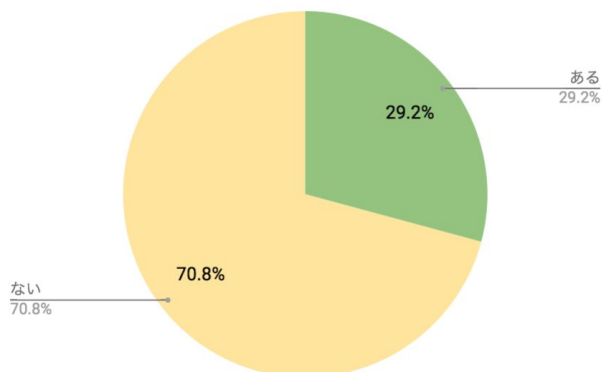
■調査結果の詳細

- 1：パワハラやセクハラで仕事を辞めた人は前年よりも増加

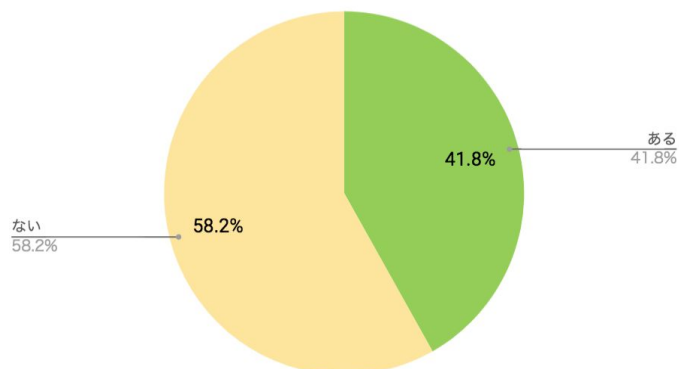
2018年度の調査と比較した結果、パワハラやセクハラで仕事を辞めたことがある人は約12ポイントも増加しています。パワハラでの退職理由として「他の従業員の前で暴力を振るわれたり、叱責されたりした」「早く仕事辞めろと毎日言われた」「残業をつけるな、定時になったら退勤を押しとられる」などが、あげられました。

セクハラやパワハラで仕事を辞めた理由には「すれ違うたびにお尻を触られる」「過剰なボディタッチが多い」や「性的な関係を迫られる」「卑猥な話題を出される」「出勤退勤時間をあわせてくる」などがあげられています。

2018年：パワハラやセクハラで仕事を辞めたことがあるか



2019年：パワハラやセクハラで仕事を辞めたことはあるか

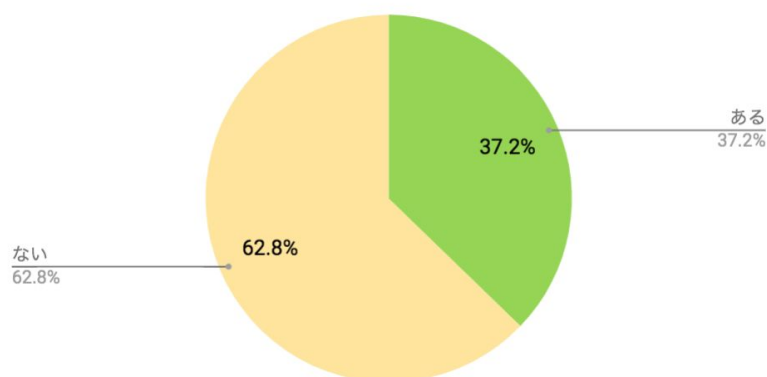


2：パワハラやセクハラで仕事を辞めた知人※1も増えている

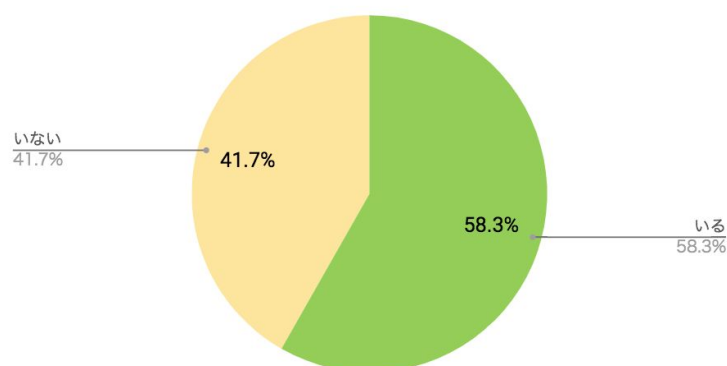
自分の身の回りで「セクハラやパワハラが理由で退職した人はいるか」というアンケートでは、2018年と比較して約21ポイント増加しています。退職理由には「秘密をバラされてからかわれていた」「上司から無視をされ、嫌がらせを受けていた」「友人が出していた成果なのも関わらず上司に横取りされていた」「一緒にご飯にいけないと給与を下げる、クビにするなどと脅されていた」などがあげられています。

※1 回答者の友人、お互いに知っている人

2018年：パワハラやセクハラで仕事を辞めた人は周りにいるか



2019年：セクハラやパワハラで仕事を辞めた人は周りにいるか



3：パワハラ度合いが高いと感じる行為に大きな変化はなし

パワハラ度合いが高いと感じる行為はそこまで変わらず、1位には「人格を否定されたり、傷つけられたりすること」があげられました。

2018年「パワハラ度合いが高いと感じるもの（複数回答可）」

- 1位：人格を否定されたり、傷つけられたりすること 19.0%
- 2位：肉体的な暴力を振るわれること 14.5%
- 3位：「お前なんかいつでもクビに出来る」などと脅されること 13.9%
- 4位：自分だけが無視、仲間はずれにされること 9.6%

2019年「パワハラ度合いが高いと感じるもの（複数回答可）」

- 1位：人格を否定されたり、傷つけられたりすること 21.1%
- 2位：肉体的な暴力を振るわれること 17.3%
- 3位：「お前なんかいつでもクビに出来る」などと脅されること 12.3%
- 4位：自分だけが無視・仲間はずれにされること 10.6%
- 5位：過剰なノルマを課せられること 7.7%
- 6位：同じ話題でネチネチと何度もいじられること 6.0%
- 6位：人前で叱責されること 6.0%
- 7位：残業の強要をされること 6.0%
- 7位：仕事を全く与えてもらえないこと 5.3%
- 8位：給料泥棒扱いされること 4.2%
- 9位：学歴による差別をされること 2.8%

4：セクハラ度合いが高いと感じる行為には変化あり

2019年度の調査では、セクハラ度合いが高いと感じる行為の1位に「マッサージと称して必要もないのに身体を触ること（15.7%）」があげられました。

2018年：「セクハラ度合いが高いと感じるもの（複数回答可）」

- 1位：性的なからかいや冗談を言ったり、性的な噂を流したりすること 15.8%
- 2位：マッサージなどと称して必要もないのに身体を触ること 13.9%
- 3位：しつこく食事やデートに誘うなど交際を迫ったり付きまとうこと 13.0%
- 4位：過剰なボディタッチ 12.3%
- 5位：性的な内容の手紙やメールを送ったり電話をかけたこと 11.3%
- 6位：男女交際や性的な経験などについてたずねること 11.3%
- 7位：容姿、体型、年齢などを話題にすること 7.1%
- 8位：「まだ結婚しないの？」「彼（彼女）はいるの？」などとしつこく聞くこと 5.5%
- 9位：裸や水着のポスターや写真などを職場に貼ったり置いたりすること 4.4%
- 10位：女性（男性）だから、特定の仕事を依頼すること 2.6%
- 11位：カラオケでのデュエットや酒席でのお酌を強要すること 2.2%
- その他：0.5%

2019年：「セクハラ度合いが高いと感じるもの（複数回答可）」

- 1位：マッサージと称して必要もないのに身体を触ること 15.7%
- 2位：しつこく食事やデートに誘うなど交際を迫ったり付きまとうこと 14.9%
- 3位：性的なからかいや冗談を言ったり、性的な噂を流したりすること 14.5%
- 4位：性的な内容の手紙やメールを送ったり電話をかけたりすること 14.1%
- 5位：過剰なボディタッチ 12.9%
- 6位：男女交際や性的な経験などについてたずねること 7.2%
- 6位：容姿、体型、年齢などを話題にすること 7.2%
- 7位：裸や水着のポスターやすさ損などを職場に貼ったり置いたりすること 6.0%
- 8位：「まだ結婚しないの?」「彼（家の次女）はいるの?」などとしつこく聞くこと 3.2%
- 9位：カラオケでのデュエットや酒席でのお酌を強要すること 2.4%
- 10位：女性（男性）だから、特定のしごとを依頼すること 1.2%
- その他：0.8%

ハラスメント問題は、上司や先輩は部下や後輩と信頼関係が出来ていると考え、強い口調などで指導したところパワハラと言われ会社を退職されたり、実際に訴えられたりしたという、思いがけず加害者・被害者となってしまうことが多々あります。

信頼関係のずれや人の性格によって、加害者側がハラスメント行為に至る場合もあれば、被害者側がちょっとしたことを過剰に受け止めてしまう場合があるため、どの程度がハラスメントにあたるのか線引きがしにくいのが現状です。

セクハラ被害に遭った女性の中には睡眠障がいやパニック障がいといった、精神障がいを背負ってしまうケースもあり、男性が思っている以上にセクハラ被害も深刻な問題です。ハタラクティブでは、企業の職場環境や労働状況を細かく把握したうえで、引き続き就職支援を行なっています。

「ハタラクティブ」について（<https://hataractive.jp/>）



ハタラクティブは、フリーターや既卒など正社員未経験の方や経験の浅い第二新卒向けの就職・転職支援サービスです。「一人でも多くの方が未来に希望を持てる社会の実現」をミッションに、2012年にサービスを開始。転職支援サービスを受けたことがない人も利用しやすい工夫を凝らしており、個別の求人紹介・面接対策なども充実しています。130,000人以上の就職を支援してきたほか、新卒向けキャリア支援「career ticket」、アパレルのキャリア支援「FASSHIONE」などのサービスも展開し、2018年4月には障がい者の就労を支援する「ワークリア」も始めました。

▽「career ticket」新卒学生向け就職支援サービス <https://careerticket.jp/>

▽「FASSIONE」アパレルの転職支援サービス <https://fassione.com/>

Leverages Group (<http://leverages.jp>)



システム開発の受託業務で2005年に創業。年商265億円（2018年3月期）、従業員数1158名（2018年9月30日時点）に成長したミドルベンチャー企業です。IT人材支援トップのエンジニア/クリエイター専門エージェント「レバテック」はじめ、業界No.2の看護師転職支援サービス「看護のお仕事」、介護、M&A、若年層就業支援や障がい者就労支援など幅広い分野で事業を展開。日本社会が抱える課題解決を通して「時代を動かす企業」を目指しています。このため、国内外の17拠点、社員数を拡充するほか、広告製作から運用まですべてのマーケティング活動を内製化するオールインハ

ウス体制を強化しコスト削減と経営のスピードアップを進めています。

本社所在地：〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ17F・18F

代表取締役：岩槻知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：人材関連事業（人材紹介・派遣、IT人材のキャリア支援など）、M&Aコンサルティング事業

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ

レバレッジズ株式会社 広報部 絹本

TEL：090-3131-7018/ 03-5774-1632 MAIL：pr@leverages.jp